

ほ場整備を契機とした集落営農法人の営農展開

ほうふし
【山口県防府市】

食料安保

【工夫のポイント】

- 大区画化、汎用化により、営農効率の良いほ場が整備され、**担い手への農地集積・集約化を促進**。
- 事業を契機に、担い手となる**農事組合法人**を設立。(平成25年)
- 米や小麦といった土地利用型作物と併せて、**たまねぎやキャベツなどの高収益作物を導入し、多様な作物生産による収益性の向上を実現**。

【取組地域の概要】

○位置 ほうふし
山口県防府市

山口県



しもつりょう
下津令地区

- 主要作物
・水稲、小麦、たまねぎ、キャベツ 等
- 主な支援施策
・農業競争力強化農地整備事業(H23~R3)
・多面的機能支払交付金(H19~)

ほ場整備による営農の効率化

区画整理による基盤の嵩上げ、用排水路の分離、地下水水位制御システムの導入、用水のパイプライン化等により、**ほ場の排水性の改良や農作業の効率化**が図られ、法人による**畑作物の生産が拡大**。



基盤整備
(H23年~R3年)

【整備前】

不整形で狭小な農地であり、地区北側の河川は水位が高く、**洪水時の排水が困難**になることから、**水稲主体の個別営農**。



農事組合法人による営農体系の確立

- 地域の豊かな農業を守っていくため「**農事組合法人下津領**」を設立。
- 水稲主体の営農から、**小麦、たまねぎ、キャベツ等の作物の栽培へ転換**。
- キャベツの生産は、**女性理事**が担っており、調整作業等では地域へ貢献するために**地元の方を雇用**。



生産現場

集落営農法人連合体の設立

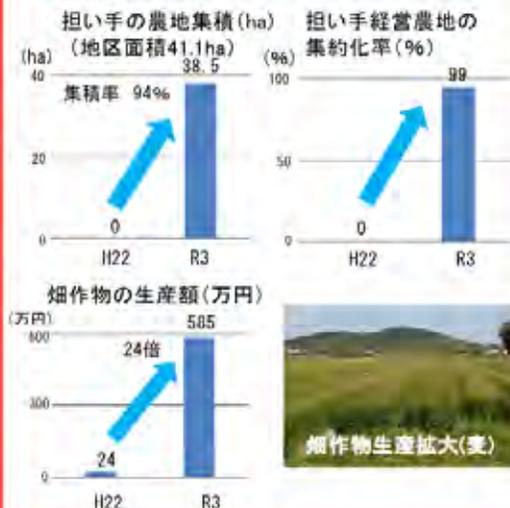
- 集落営農法人の構成員の高齢化等に対応し、地域農業の持続的発展を目指すため、防府市大道地域の3集落営農法人と認定農業者が共同出資して**株式会社(集落営農法人連合体)**を設立。
- 連合体では、ドローンを活用した農薬散布や資材の共同購入、機械共同利用による**各法人のコスト縮減**や、**人材育成へ取り組む**。



地域の取組

区画整理による農地集積と畑作物の生産拡大

- ほ場整備と、それを契機に設立された集落営農法人による営農を進めることで、**担い手への農地集積・集約化の促進**や**畑作物の生産額向上**が図られた。



れんこんのブランド産地化に向けた取組

【徳島県鳴門市】

農業の成長産業化

【工夫のポイント】

- 環境保全型農業の取組と併せ、基盤整備による農業用水の水質改善、水管理の省力化により、**れんこんの品質向上や収量増**を実現。
- 「コウノトリおもてなしれんこん」として、**ブランド化や6次産業化**を推進。
- れんこんのブランド化と併せて、新規参入者に対する技術習得のための研修を行い、**地域の担い手を育成**。

【取組地域の概要】

○位置 なるとし
徳島県鳴門市



○主要作物
・れんこん、なし等

- 主な支援施策
- ・国営総合農地防災事業(H3~)
 - ・地盤沈下対策事業(H3~)
 - ・国営附帯県営農地防災事業(H26~)

かんがい排水施設の整備による
労力の軽減と品質・収量の安定化

かんがい排水施設の整備により、かん水に係る**労力の軽減**や高収益作物の**安定した品質・収量**により、経営が安定化。



基盤整備
(H3年~)

【整備前】

地域内の水路の多くが**用排兼用**であり、都市化の進展や下水道整備の遅れ、地盤沈下による排水不良等により**水環境が急速に悪化**。



生産現場

「とくしま特選ブランド」の栽培を促進

- 環境保全型農業の取組に加え、良質な農業用水の安定供給により、とくしま特選ブランドの「れんこん」をはじめとした農産物の**品質向上や収量増**を実現。



地域の取組

コウノトリと共生した農業推進

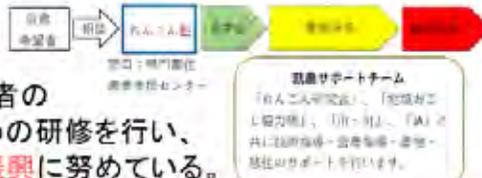
- 環境保全型農業による農業振興と地域活性化に向け、「コウノトリおもてなしれんこん」をブランド化。
- 主に関西市場に出荷されていた全国第2位の生産量を誇る徳島県産れんこんを、**関東市場に出荷を開始**。



担い手

「れんこん塾」による担い手の育成

- 県、市、JA、地域おこし協力隊、地元農家が一丸となり、新規参入者の受入れ、技術習得のための研修を行い、**担い手確保による産地振興**に努めている。



地域の取組と基盤整備が
一体となった収益力の向上

- 環境保全型農業の取組と併せ、農業用水の水質改善、水管理の省力化により、れんこんの**単位収量や出荷量の向上**に寄与。



- 更なる省力化、収量増に向け、IoTを活用した「**スマート技術**」を取り入れた**営農体系の実証プロジェクト**を開始。



ため池の防災工事による「流域治水」対策の推進

よしのがわし
【徳島県吉野川市】

TPP対応策

3か年緊急対策

農林水産省

【対策のポイント】

- 塚池は、貯水量が12.9千 m^3 であり、農地11.5haに用水を供給。
- 下流直下に住宅や地域の幹線道路である市道が存在し、決壊時に大きな被害のおそれがあるため早急な対策が必要。
- このため、3か年緊急対策において、洪水吐と堤体の改修を実施。

【取組地域の概要】

- 位置
よしのがわし
徳島県吉野川市



- 主要作物
・水稲

ため池の防災工事を実施中

- 3か年緊急対策において、洪水吐の排水能力アップと堤体の嵩上げを実施。



基盤

基盤整備

(H30～R3)

ため池改修による「流域治水」対策への貢献

- 本地域は長年にわたり内水氾濫に悩まされており、治水対策が急務。
- 「流域治水」対策の取組には、農業用ため池の活用が不可欠。
- 吉野川市が土地改良区と「流域治水」に関する協定を締結(R3.3月及び5月)。
- 堤体や洪水吐の改修により、「洪水調節機能」が大幅にアップ。

農業用ため池を活用した「流域治水」対策



対策の
効果

事業名	事業費	対策期間
農村地域防災減災事業	2億1,500万円	H30～R3
うち3か年緊急対策	1億4,500万円	H30～R2

ため池整備による堤体の決壊リスク軽減と監視体制の強化

よしのがわし
【徳島県吉野川市】

国土強靱化

【対策のポイント】

- **ため池の堤体の幅が狭く、地震や豪雨により決壊するおそれ。**
- このため、耐震補強工事を実施するとともに、洪水吐きを改修するとともに監視カメラを設置。
- これにより、**ため池の決壊リスクが低減されるとともに、ため池の監視体制が強化。**

【取組地域の概要】

○位置 よしのがわし
徳島県吉野川市

徳島県



つがいけ
塚池

○実施事業

- ・農村地域防災減災事業 (H30~R4)
- うち3か年加速化対策 (H30~R2)
- うち5か年加速化対策 (R2)

ため池のハード対策・ソフト対策

- 堤体の拡幅・嵩上げを行う耐震補強を実施。
- 洪水吐きの断面を拡幅し、豪雨に対応できるよう流下能力を向上。
- 監視カメラによる遠隔監視を可能にしたことで監視体制を強化。



堤体の拡幅・嵩上

	整備前	整備後
堤体幅	平均2.0m	平均3.4m
堤高	5.7m	7.0m



監視カメラの設置



洪水吐きの断面拡大

	整備前	整備後
洪水吐きの幅	4.2m	5.5m

ため池の
防災・
減災対策
(H30年
~R4年)

【整備前】

近年の激甚化・頻発化する豪雨や、南海トラフ巨大地震等により、**ため池が決壊し、下流の住宅等に被害が発生するおそれ。**

現況の堤体
(W=2.0m,h=5.7m)



断面が狭小な洪水吐き

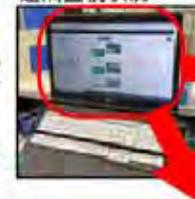


堤体決壊リスクの軽減と監視体制の強化

- 堤体補強、洪水吐きの断面確保により、豪雨や地震からため池の決壊リスクを軽減。
- 監視カメラ等による監視体制を強化するなど地域の防災・減災力を向上。

	想定被害額	影響を受ける住宅
対策なし（決壊した場合）	3.8億円	19戸
対策あり	被害なし	被害なし

遠隔監視状況



ため池の様子



現場から離れた事務所のPCから、ため池の画像や水位の情報を遠隔で確認することが可能。

水位データ



基
盤

対
策
の
効
果

「基盤整備」+「高度環境制御栽培施設」+「企業誘致」の取組

あわし
【徳島県阿波市】

食料安保

スマート農業

環境

地域活性化

【工夫のポイント】

- 地域農業の競争力強化を図るため、区画整理等により**スマート農業導入のための基盤を整備**。
- 施設園芸企業を誘致し、スマート農業による実証と普及拠点となる**高度環境制御型園芸ハウスを整備**。
- 産官学連携による**次世代人材育成を実施**。

【取組地域の概要】

- 位置 あわし
徳島県阿波市



- 主要作物
・レタス、白ナス、ミニトマト等
- 主な支援施策
・農地耕作条件改善事業(R1)
・強い農業・担い手づくり総合支援交付金 (R1~R2)
・県営土地改良総合整備事業(HB~H10)
・国営かんがい排水事業(S46~H元)

基盤整備の実施と吉野川北岸用水の利用による
高度環境制御型園芸ハウスの導入

区画拡大と排水改良、水質の良い用水の安定確保により、**施設園芸の導入が可能**となり、高収益作物の**品質・収量が向上**。



用水
利用



基盤整備
(R1年)

【整備前】

区画が狭小、農地に段差があったことから、**広がりがある基盤の整備が必要**。



生産現場

高度環境制御型園芸ハウスの導入

- 高収益トマト生産モデルの実証と普及拠点として、企業が**高度環境制御型園芸ハウスを整備**。



加工・流通

農産物の高付加価値化(国産)の取組

- 業務用途のトマトは海外からの輸入が大半を占める中、国内大手コンビニチェーンやハンバーガーチェーンなどと取引のある**商社への契約出荷を増進**。



地域の取組

人材育成と地域貢献

- **次世代を担う人材育成**に向け、県、市、徳島大学、参入企業等が**連携協定を締結**。
- 農業を魅力ある職業にすべく、**市内小学生の見学を受け入れ**、新しい農業の姿として紹介。



スマート農業を活用した
地域農業モデルの推進

- **担い手に農地を集積・集約**するとともに、スマート農業技術の導入により**生産性を向上**。輸入品から国内生産へシフト。

全国平均の3倍以上を目標



- 県内農家を対象とした「施設園芸アカデミー」の開講により**次世代の人材を育成**。



- 現地採用として20名を雇用。役員2名は**会社設立のため移住**。



基盤整備を生かした営農作業の効率化・省力化に向けた取組

あやがわちよう
【香川県綾川町】

省力化・
スマ農

グリーン

国土多動化

【工夫のポイント】

- 区画整理やパイプライン化により、**維持管理や配水管理を省力化**。
- 基盤整備を契機に、**担い手への農地の集積・集約化を進めるとともに、担い手の維持管理負担の軽減**にも取り組む。
- 農地法面への**センチビードグラスの導入や、農地集約によるドローンの効率的な利用**により、営農作業の省力化を加速。

農地整備と用水のパイプライン化による汎用化と管理労力の軽減

- 農地整備で水田を汎用化し、用水のパイプライン化で農業用水を安定的に確保。**水田での高品質な畑作物の生産を促進**。
- 区画整理や用水のパイプライン化をすることで、**維持管理作業の労力の軽減と用水の効率的な利用に寄与**。



基盤整備

(H29年～)

【整備前】

農地が**小規模・不整形**、農道も狭小なため、**大型機械の導入が困難**。
かんがい施設の老朽化による漏水等で、**配水管理に多大な労力**。



【取組地域の概要】

- 位置 あやがわちよう
香川県 綾川町 (標田地域)



- 主要作物
・水稻、麦 等
- 主な支援施策
・農業競争力強化基盤整備事業
(H29～R6予定)

基盤整備を契機とした担い手の育成

- 区画整理に併せて、**担い手へ農地を集積・集約化**(担い手1戸当たり経営面積 2.5ha→3.8ha)。
- 地域の担い手として農事組合法人をH30に設立(経営面積14.9ha)。
- 地区農用地面積 39.7haのうち30.8haを担い手に集積。そのうち**約74%の22.9haを集約化**。



担い手

担い手の維持管理負担を軽減

- 農地集積に伴って増加する、担い手の草刈り作業の省力化が必要。

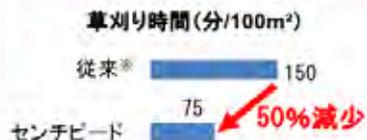


カパープランツ
を導入

地域の取組

基盤整備を生かした営農作業の省力化・効率化

- 他の雑草の侵入を抑える効果のある**センチビードグラスを法面に吹付ける**ことで、**担い手の草刈り回数を軽減**。



※水路法面、肩掛式草刈機での作業の場合



- 農地を集約することで、**ドローンの連続稼働範囲が広がり、農業散布の正確性・効率性が向上**。

- 人力からドローンによる農薬散布に切り替える農地も増加。



※ドローン飛行時間、液体防虫剤散布の場合



基盤整備を契機とした高収益作物の生産拡大

さいじょうし
【愛媛県西条市】

TPP等対策

2019年度西条市

高収益作物生産

【対策のポイント】

- 区画整理により農地を大区画化し、営農効率が向上。
- 暗渠排水等の整備により水田を汎用化し、高収益作物の生産が拡大。
- 高収益作物の生産額は5.5倍の増加。作付面積は約8倍の増加。

【取組地域の概要】

○位置 さいじょうし
愛媛県西条市

愛媛県



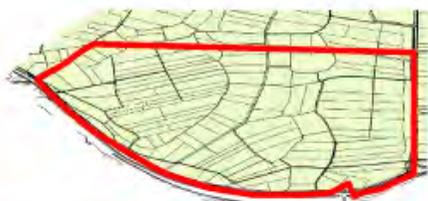
たへみなみなみ
大兵衛南地区

- 事業名
農業競争力強化農地整備事業 (H23~R2)
- 主要作物
水稲、麦、キャベツ、ホウレンソウ、サトイモ
- 受益面積 31.8ha
- 主要工事
区画整理: 31.8ha、暗渠排水: 31.8ha

基
盤
整
備

区画整理と暗渠排水の整備

- 整備前のほ場は狭小、不整形で道路・用排水路も未整備。加えて、低湿地で排水条件が悪く、遊休農地の拡大を危惧。
- 区画整理と暗渠排水の整備により、農地の大区画化、汎用化が実現し、農作業の効率化、高収益作物の導入が進展。



基盤整備
(H23~R2)

整備後のほ場



ハイブラインも整備

大型機械も導入



排水条件の悪いほ場



暗渠排水整備で汎用化



農道下の排水管

地
域
の
取
組

高収益作物の導入や生産拡大に向けて

- 担い手による振興作物であるキャベツ、ホウレンソウ、サトイモ等の高収益作物の計画的な作付け。



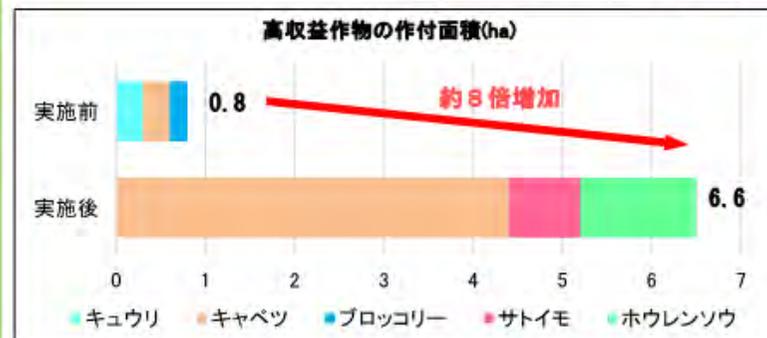
キャベツ栽培状況

対
策
の
効
果

高収益作物の作付け拡大

- 高収益作物の生産額は400万円から2,200万円に増額。
- 高収益作物の作付面積は0.8haから6.6haに拡大。

サトイモ収穫の様子



基盤整備と排水対策の両輪で優良農地と担い手を確保する

【愛媛県東温市】

【工夫のポイント】

- ほ場が狭小・不整形なことに加え、地形的条件により、たびたび**湛水被害**が発生し、担い手の耕作意欲の低下や遊休農地の拡大が懸念された。
- 地区の課題に対し、**市と県が連携、役割分担し、区画整理と排水対策を展開**。
- 区画整理と排水対策により**営農効率の向上、高収益作物の安定生産**が実現。
- **認定農業者が増加**し、近隣地域へも**基盤整備の取組**が波及。

【取組地域の概要】

○位置 とうおんし
愛媛県東温市（山村、特農）

愛媛県

うしぶち
牛淵地区



○主要作物
・水稻、麦、大豆、花き、いちご

- 主な支援施策
- ・農山漁村活性化補助金交付金 (H23～H28)
 - ・農業基盤整備促進事業 (H28)
 - ・農地耕作条件改善事業 (H29)
 - ・経営体育成基盤整備事業（排水対策型） (H22～H24)
 - ・水利施設整備事業（排水対策特別型） (H25～H28)

役割分担を行い効果的な基盤整備を展開

- 区画整理は地域の細かいニーズに応えられる**団体営**で実施し、**効率的な営農が可能なほ場に再編**するとともに、排水路整備は周辺地域も含めた広範囲において**県営**で実施し、**湛水被害の解消と汎用化**を推進。



基盤整備
(H23年～H29年)

【整備前】

- 狭小かつ不整形なほ場であり、**道路も狭小**のため、**非効率的な営農形態**。
 - 河川や高速道路、宅地等に囲まれ**大規模なほ場整備が難しい**上に、雨水が集まる地形でしばしば**湛水被害**に見舞われ、**汎用化が困難**。
- 耕作意欲の低下と遊休農地の拡大が懸念。



基盤

生産現場

地域の取組

農作業の効率化と湛水被害の未然防止

- 区画整理により**大型の農業機械**や**運搬車両の導入**が可能となり**作業が効率化**。
- **湛水の不安が解消**され、水稻に加えて**花き(路地、ハウス)**、いちごなどの**高収益作物の安定生産**が実現。



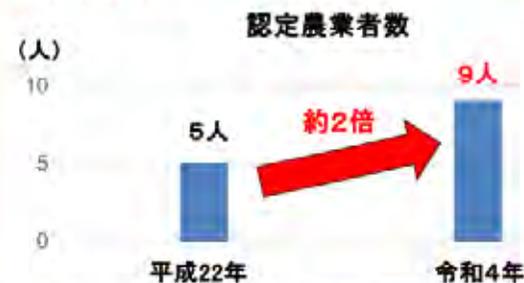
地区意見を事業に反映し優良農地を確保

- 区画整理と並行し、周辺地域を含めた**広範囲での排水対策の必要性を考慮した整備計画**を提案し、関係者の合意形成を図った。
- **団体営と県営を両輪**とした事業の実施を実現させ、**優良農地の構築**に繋がった。



意欲ある担い手の確保と高収益作物への転換

- 基盤整備を契機に新規就農者が増加。
- **認定農業者数は約2倍**になり、さらに**近隣地域へも基盤整備の取組**が波及。



- 今後、シクラメンなどの**高収益花きの栽培を予定**しており、**品質第一**で栽培に取り組み、**販売額の増加につなげていく**こととしている。



排水機場の整備による施設園芸団地の湛水被害防止

げいせいむら
【高知県芸西村】

国土強靱化

【工夫のポイント】

- 施設園芸中心の地域において、台風や豪雨などによる**甚大な湛水被害**が発生。
- 排水機場の整備により**湛水被害を未然に防止し、施設園芸農業を推進**。
- 担い手の確保や収量アップの取り組みにより、**販売額が増加**。

施設園芸農地の湛水被害を防止

わじまがわ
排水機場の整備により、和食川に**強制排水**することで、**施設園芸農地の湛水被害を防止**。



基盤整備
(H12年～H21年)

【整備前】

本地域は**施設園芸中心の地域**であるが、洪水時には地域の中心を流れる**和食川の水**位が**上昇**し、自然排水では対応できなくなり、**湛水被害が発生**。



【取組地域の概要】

○位置 げいせいむら
高知県芸西村



○主要作物
・施設園芸
なす、ピーマン、花き等

○主要施設
・排水機場 2か所

○主な支援施策
・県営畑地帯総合整備事業(H12～H21)

環境制御技術等の導入による収量増への取組

○ **環境制御技術**(炭酸ガス発生機等)やIPM※を積極的に導入し、**収量アップ**と省力化を推進。

<環境制御技術導入率>
なす14%(7.0ha)、ピーマン44%(5.4ha)、花卉:25%(2.5ha)

<IPM技術(天敵利用等)や防花昆虫の積極的な導入>
なす90%、ピーマンほぼ100%

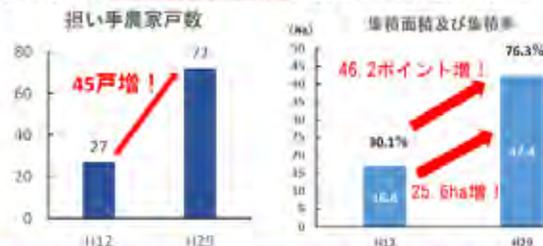
※Integrated Pest Management
(総合的病害虫・雑草管理)



生産現場

担い手農家の確保と集積を推進

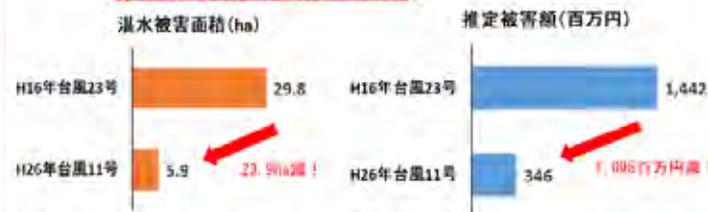
○ 湛水被害の防止と収量アップの取組により、地域内の**担い手が増加**。併せて集積を加速化。



地域の取組

湛水被害を防止と収量増の取組により販売額が増加

○ 排水機場の整備により、**防災・減災効果**を発揮。平成26年台風11号では、平成16年台風23号に比べて**湛水被害を大幅に軽減**。



○ 湛水被害の防止による施設園芸農業の経営安定を図るとともに担い手確保や収量アップの取り組みにより、**販売額が増加**。



3. 中国四国地域における農村の振興

(1) 多面的機能支払制度

- 管内における令和5（2023）年度の多面的機能支払制度の取組面積（農地維持支払）は146,619haで、前年に比べ780ha増加している。
- 本事業の二期対策開始時の令和元（2019）年度には、高齢化による役員不足や事務負担を理由に減少したものの、その後は取組面積は増加している。
- また、令和5年（2023）度の活動組織数は4,074組織（うち広域活動組織数は116組織）で、前年に比べ20組織増加している。

注： 多面的機能支払は、平成19（2007）年度に農地・水・環境保全向上対策として開始。

多面的機能支払（農地維持支払）取組面積の推移（中国四国）

（単位：ha）

	令和元年度 (2019)実績	令和2年度 (2020)実績	令和3年度 (2021)実績	令和4年度 (2022)実績	令和5年度 (2023)実績
全国	2,274,027	2,290,820	2,311,040	2,318,259	2,304,863
中国四国	141,619	142,483	145,065	145,839	146,619
中国	93,099	93,835	95,346	96,416	97,037
鳥取県	16,070	16,070	16,262	16,324	16,392
島根県	22,624	22,608	22,826	22,936	23,023
岡山県	15,903	16,500	17,182	18,071	18,310
広島県	18,440	18,568	18,854	18,979	18,917
山口県	20,061	20,088	20,221	20,106	20,395
四国	48,520	48,648	49,719	49,423	49,582
徳島県	10,341	10,312	10,338	10,319	10,324
香川県	13,362	13,365	13,965	14,187	14,323
愛媛県	15,514	15,292	15,661	15,200	15,209
高知県	9,302	9,680	9,755	9,717	9,726

多面的機能支払（農地維持支払）活動組織数の比較（中国四国）

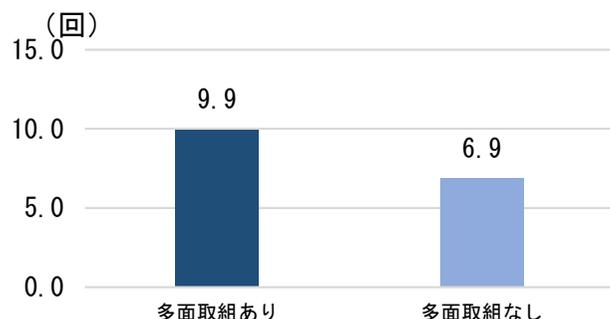
	令和4(2022)年度 (実績)		令和5(2023)年度 (実績)		令和4(2022)年度から令和5(2023)年度の増減	
	活動組織数	うち広域活動組織数	活動組織数	うち広域活動組織数		
中国四国	4,054	115	4,074	116	20	1
中国	2,809	93	2,822	94	13	1
鳥取県	623	21	624	20	1	△ 1
島根県	614	31	618	31	4	0
岡山県	501	10	510	10	9	0
広島県	767	14	761	16	6	2
山口県	304	17	309	17	5	0
四国	1,245	22	1,252	22	7	0
徳島県	163	18	165	18	2	0
香川県	318	3	325	3	7	0
愛媛県	432	0	432	0	0	0
高知県	332	1	330	1	2	0

資料：農林水産省農村振興局調べ
 ※令和5年度（2023）実績の全国数値には、令和6年能登半島地震の影響により、石川県の数値を含んでいない。

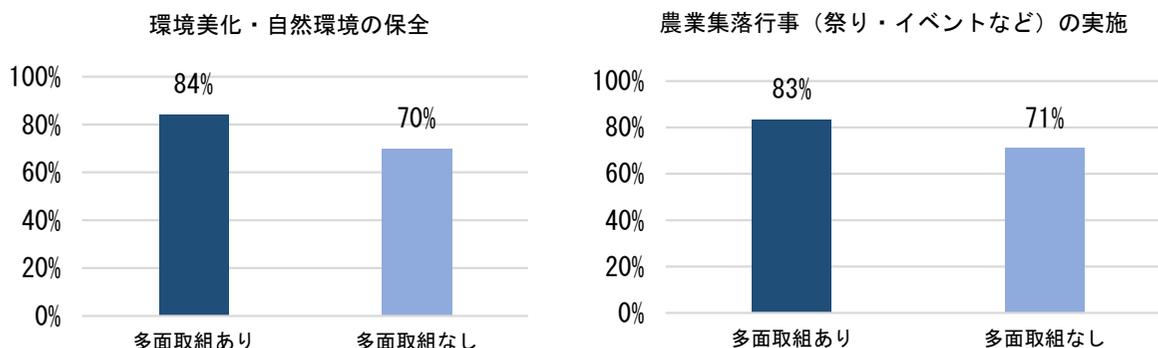
資料：農林水産省農村振興局調べ

- 多面的機能支払交付金制度に「取組あり」の集落は、「取組なし」の集落に比べ、集落内の寄り合い回数や地域活性化のための活動数が多いことから、農村コミュニティ内外の交流・連携等が進展している。
- 農村地域の高齢化や人口減少等に伴う、地域の共同活動等の脆弱化による持続的な多面的機能の発揮に支障を来さないよう、また、水路等の維持管理負担の軽減による担い手への規模拡大等を後押すためにも、本制度の取組面積の維持・拡大が不可欠である。

令和3(2021)年集落内の平均寄り合い開催数(中国四国)



令和3(2021)年活性化のための活動をしている地域集落の割合(中国四国)

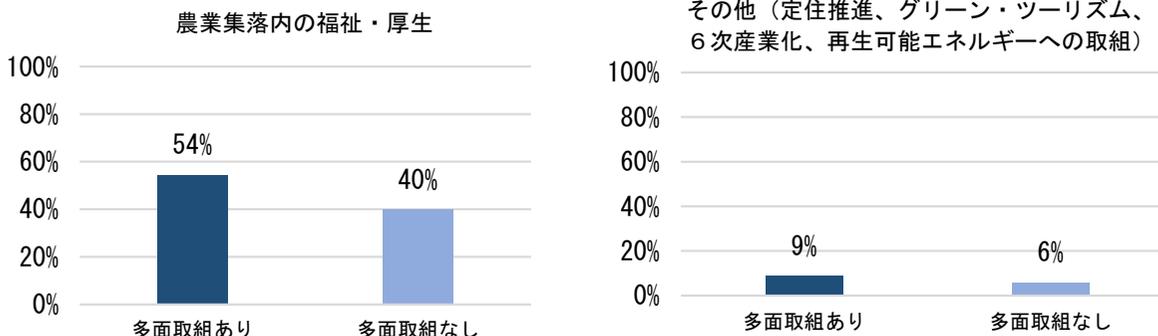


資料：農林水産省「農林業センサス」を基に作成
比較条件：多面取組あり(①+②)

- ①多面的機能支払の対象組織と中山間地域等直接支払の協定の両方あり
- ②多面的機能支払の対象組織のみあり

多面取組なし(③+④)

- ③中山間地域等直接支払の協定のみあり
- ④多面的機能支払の対象組織と中山間地域等直接支払の協定の両方なし



3. 中国四国地域における農村の振興

(2) 農業集落排水施設の整備

- 農村整備事業（農業集落排水施設整備事業）では、中国四国管内40万人（全国294万人）を対象とする農業集落排水施設のうち、大規模施設や被災リスクのある施設の強靱化、維持管理の効率化等に資する施設の高度化や、国内資源である農業集落排水汚泥の農地還元を推進するために必要な調査・調整、技術的検討及び計画策定を支援している。

【管内の農業集落排水施設及び営農飲雑用水施設】

農業集落排水施設数及び営農飲雑用水施設数

	農業集落排水施設	営農飲雑用水施設
鳥取県	171	1
島根県	141	1
岡山県	106	24
広島県	85	10
山口県	87	6
徳島県	32	21
香川県	34	4
愛媛県	57	28
高知県	42	24
中国四国	755	119

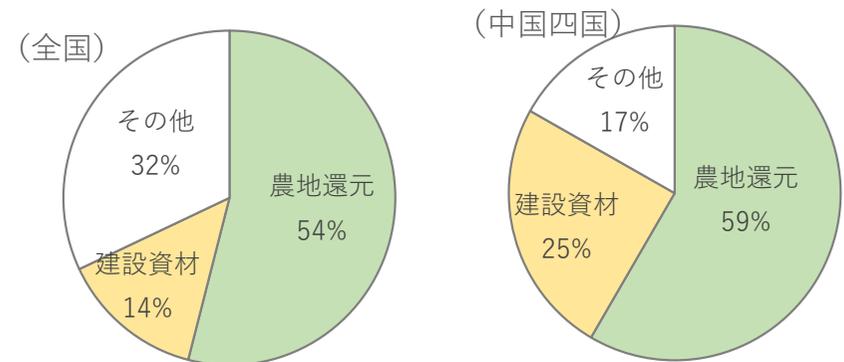
出展：地域町整備課調べ（令和7年1月）



管内の農業集落排水施設の事例（岡山県鏡野町）

【汚泥の再生利用】

（集落排水汚泥リサイクルの状況）



出展：地域整備課調べ（令和5年12月）



管内の堆肥化施設の事例（徳島県海洋町）